

有効であり、機能改善のみならず、心理的な効果を通したリハビリテーション効果がある。

## 34. 宮城県における難病患者地域支援対策について

研究 班員：糸山泰人（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

研究協力者：小野寺宏（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

○大崎奈津子、白鳥幸子（宮城県登米保健福祉事務所）、庄司剛、藤本俊一、浅野和久（宮城県保健福祉部健康対策課）、高瀬貞夫、野村 宏、関本聖子（宮城県神経難病医療連絡協議会）、望月 廣（国立療養所 宮城病院）

難病患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活するという QOL の向上を求める要請に対応するため公的サービスと民間サービスとの調整を行うとともに、保健・医療・福祉の総合的展開を図ることで難病患者の地域支援を推進し、難病患者とその家族の QOL 向上に資することを目的に平成 13 年度より難病患者地域支援対策推進事業を展開している。本年度は宮城県の 4 保健所が事業を展開している。その中で、宮城県登米保健所における難病患者地域支援の実際について報告する。今後は、宮城県全保健所でこの事業を推進し、難病患者がどこに住んでいても一定のサービスを受け、安心して望む場所で療養できることを目指していく。

**A. 目的：**難病患者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活していきたいという生活の質に対応する期待が高まり、各地で種々の取り組みが行われている。当県では、神経難病医療連絡協議会の活動において先進的な取り組みが行われ既に報告されている。即ち三次医療圏（県全体）で医療機関のネットワークを構築し、在宅難病患者の緊急時の入院調整や患者からの医療相談に応じ、保健所と連携し療養支援を行っている。これらを受けて、二次医療圏（保健所単位）においても従来の行政サービスと平成 12 年度施行の公的介護保険と連動して、管内の保健・医療・福祉の総合的展開を図ることで難病患者と家族の QOL の向上に努めることを目的とする。

### B. 方法

1. 難病患者地域支援対策推進委員会の設置により、患者の療養に係わる環境の分析、評価を管内の医療機関・関係者と共有し、昨年作成した「難病患者支援マニュアル」内容を評価・検討する。

2. ケース検討会議を行い、支援計画策定・実施・評価をしマニュアルに関する情報分析を行い、委員会に提示していく（随時、事例への支援も行う）。

3. マンパワー確保のため、研修の場を設け身近な支援者、ヘルパー、医療関係者等への情報提供を行う。

4. ボランティア登録事業（既存事業との調整）

### C. 登米保健所の活動

当管内は人口 9 万人、医療の過疎地といわれている。神経内科医は今年度開業したばかりである。

1. 個人支援：40 代女性。平成 8 年に発症。平成 12 年から介護保険の利用を開始した。意思

伝達装置を使用中。気管切開および胃ろう造設施行後、専門病院からの転院可能な病院や往診を引き受けてくれる医療機関が見つからず協議会に転院先の相談をし、1 年間入転院を繰り返す。平成 14 年人工呼吸器を装着し地元の国保病院でレスパイトも含めた入院・入所体制（療養型病床の利用）の調整がなされ現在在宅生活を送っている。

1-1. 退院にあたり保健所が支援したこと

①救急車搬送時の注意点等連絡のため消防署へ訪問を行った。

②退院前のケア会議開催時、往診医・家族・関係者間で緊急時の対応を確認した。

③今後の生活の希望確認のため、本人との面接を入院中も含め数回に渡り実施した。

④家族の今後の生活の希望確認についてもケアマネージャー、保健所で確認を実施した。

⑤保健師がケアマネージャーと各医療機関との連絡調整を行い両者のパイプ役となった。

⑥同病者の紹介を行い、訪問の機会を作った。

2. 問題点と課題

①神経内科専門病院から地元の病院への転院が困難である。

②医療の確保のために保健所でも管内医療機関に相談し、転院先の確保が必要である。

3. 地域支援

・地元の医療機関との連携を図り、難病患者の生活をサポートしていく。

### D. 今後の展開

現在、宮城県の 4 保健所が事業として展開中である。今後は、宮城県全保健所でこの事業を推進し、難病患者がどこに住んでいても一定のサービスを受け、安心して望む場所で療養できることを目指していく。

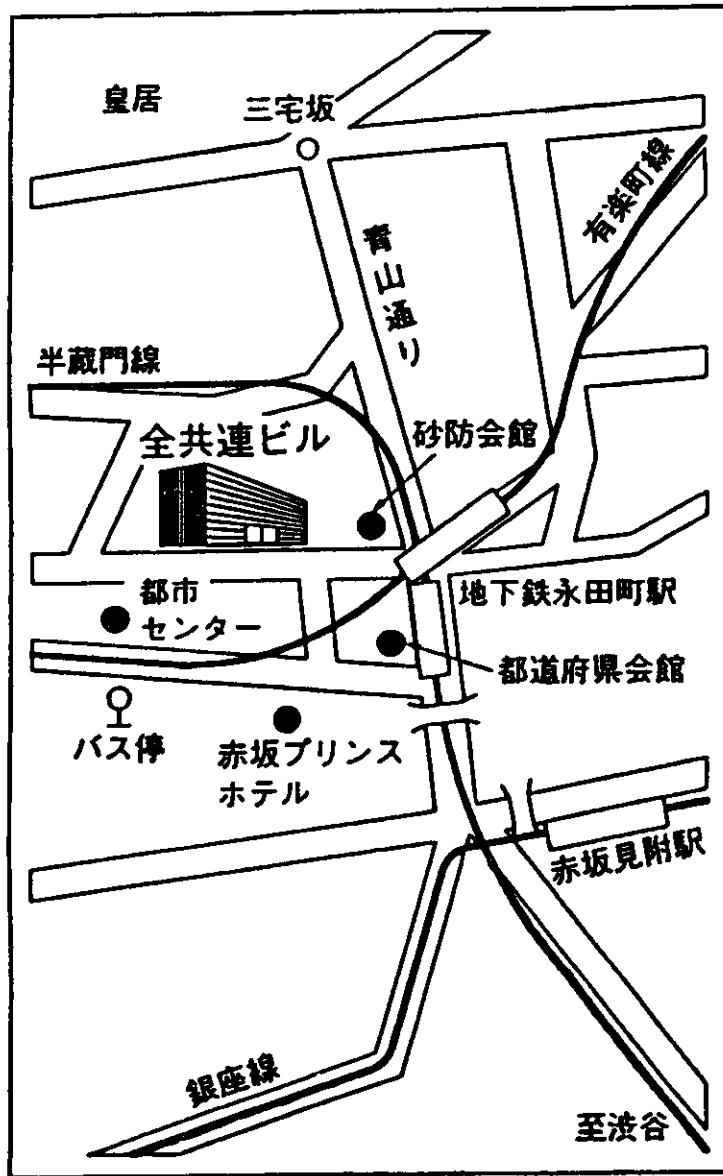
平成14年度厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業  
 特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究班  
 分担研究者・研究協力者リスト

(主任研究者)			
木村 格	研究総括 特定疾患の東北地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養所山形病院 神経内科学	院長
(分担研究者)			
田代邦雄	特定疾患の北海道地域支援 体制の構築に関する研究	北海道大学医学部 神経内科学	教授
島 功二	特定疾患の北海道地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養札幌南病院 神経内科学	副院長
糸山泰人	特定疾患の東北地域支援 体制の構築に関する研究	東北大学医学部 神経内科学	教授
加藤丈夫	特定疾患の山形地域支援 体制の構築に関する研究	山形大学 医学部 第三内科学	教授
望月 廣	特定疾患の宮城地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養所宮城病院 神経内科学	副院長
中野今治	特定疾患の関東地域支援 体制の構築に関する研究	自治医科大学 神経内科学	教授
林 秀明	特定疾患の関東地域支援 体制の構築に関する研究	東京都立神経病院 神経内科学	院長
吉野 英	特定疾患の千葉地域支援 体制の構築に関する研究	国立精神神経センター 国府台病院神経内科学	医長
今井尚志	特定疾患の千葉地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養所千葉東病院 神経内科学	医長
長谷川一子	特定疾患の神奈川地域支援 体制の構築に関する研究	国立相模原病院 神経内科学	医長
中島 孝	特定疾患の新潟地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養所犀潟病院 神経内科学	医長
黒岩義之	特定疾患対策の神奈川地域支援 体制の構築に関する研究	横浜市立大学医学部 神経内科学	教授
塩澤全司	特定疾患対策の山梨地域支援 体制の構築に関する研究	山梨医科大学 神経内科学	教授
溝口功一	特定疾患の静岡地域支援 体制の構築に関する研究	国立療養所静岡神経医療センター 神経内科学	診療部長
祖父江 元	特定疾患の中部地域支援 体制の構築に関する研究	名古屋大学医学部 神経内科学	教授

神野 進	特定疾患の大阪府地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所刀根山病院 神経内科学	副院長
近藤智善	特定疾患の和歌山地域支援体制の構築に関する研究	和歌山県立医科大学 神経内科学	教授
成田有吾	特定疾患の三重地域支援体制の構築に関する研究	三重大学医学部 神経内科学	助教授
高橋桂一	特定疾患の兵庫地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所兵庫中央 神経内科学	名誉院長
阿部康二	特定疾患の岡山地域支援体制の構築に関する研究	岡山大学医学部 神経内科学	教授
難波玲子	特定疾患の岡山地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所南岡山病院 神経内科学	医長
畑中良夫	特定疾患の四国地域支援体制の構築に関する研究	国立療養高松病院 神経内科学	院長
吉良潤一	特定疾患の九州地域支援体制の構築に関する研究	九州大学医学部 神経内科学	教授
渋谷統壽	特定疾患の長崎地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所川棚病院 神経内科学	院長
森 照明	特定疾患の大分地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所西別府病院 脳神経外科学	院長
福永秀敏	特定疾患の鹿児島地域支援体制の構築に関する研究	国立療養所南九州病院 神経内科学	院長
(研究協力者) 小野寺宏	特定疾患の宮城地域支援体制の構築に関する研究	東北大学医学部 神経内科学	助教授

---

事務局 事務担当 関 晴朗・津田丈秀・亀谷 剛 (国立療養所山形病院神経内科)  
 経理担当 酒井義雅 (国立療養所山形病院会計課長)  
 住所 〒990-0876 山形市行才126-2  
 電話 023-684-5566 (病院代表)  
 F A X 023-681-3082 (院長室直通)  
 023-684-2519 (事務局)  
 電子メール kimurai@yamagata.hosp.go.jp  
 kameyat@yamagata.hosp.go.jp



● 交通のご案内

- 地下鉄／有楽町線・半蔵門線永田町駅下車出口No.4  
(徒歩1分)
- 丸の内線・銀座線赤坂見附駅下車 (徒歩5分)
- J R 線／中央線・総武線四谷駅下車 (徒歩15分)
- タクシー／四谷駅から5分、東京駅・新橋駅から10分
- 都バス／新橋・新大久保駅より (橋63)  
平河町2丁目都市センター前下車(徒歩1分)

---

---

# 研究成果の刊行に関する一覧表

---

---

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「特定疾患の地域支援  
体制の構築に関する研究」

研究成果の刊行に関する一覧

刊行書籍又は雑誌名（雑誌の時は 雑誌名、巻号数、論文名	刊行年月日	刊行書店名	執筆者氏名
(主任研究者 木村 格)			
1) 医療 56:230-235 特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築 国立医療機関を核に全国に神経難病の支援ネットワーク をつくる。	2002		木村 格
2) Clinical Neuroscience 20:542-543 神経難病のメンタルヘルス：メンタルヘルスをめぐる 諸問題。	2002	中外医学社	木村 格
3) 日本神経学会治療ガイドライン作成委員会 www.neurology-jp.org/guideline/ ALS治療ガイドライン：支援ネットワークの構築	2002	日本神経学会	木村 格
4) Modern Medicine 22:637-643 難病の地域支援ネットワークの現状と将来： 今、全国で難病患者支援ネットワークが稼働し、効果を あげている。	2002		木村 格
5) 薬の知識 53:2-12 神経難病医療ネットワーク：神経難病患者の増加を 見据えて。	2002		木村 格 吉良潤一
6) 神経内科 56:234-236 先天性鏡像運動症を有する進行性核上性麻痺患者の 1 剖検例	2002		亀谷 剛 木村 格
7) 臨床神経内科学 第 5 版 印刷中 医療体制の整備	2003		木村 格
8) ダイナミック神経診断学（柴崎浩他編）pp.391-399 頭痛：神経症候と神経診断学	2001	西村書店	木村 格
9) 東北神経筋疾患政策医療のネットワーク 政策医療ネットワーク会議（神経難病）	2001	神経ネットワーク会議	木村 格
10) 山形県看護教育協議会平成 13 年度会報、pp.23-25 医療や看護のあり方に思う：日本海に沈む雄大な夕陽を 一度みてみたい。	2001	山形県看護協会	木村 格
11) 臨床神経学 40 巻 全国国立療養所における ALS 患者の栄養療法の 現状について	2001	日本神経学会	関 晴朗 木村 格

12) 神経疾患State of Arts (中村重信編集) 神経難病ケアシステム	2000	医歯薬出版	木村 格
13) 神経内科検査・処置マニュアル (阿部康二編集) 筋電図・電気生理学的検査	2001	振興医学出版	木村 格
14) 医療 55巻: 医療 55: 65-72 神経ネットワークで実施されるべき共同研究について	2001	国立病院療養所医学会	湯浅龍彦 木村 格
15) 日本ALS協会山形県支部会報、vol. 12, 生きがいをもって過ごせる在宅に近い生活環境を整備 する	2000	日本ALS協会山形県支部	木村 格
16) Ann. N.Y.Acad. Sci 971:536-538 Loss of the neurofibromin-NF1 gene product and Composite Pheochromocytoma	2002	New York Academy of Sciences	木村伯子 木村 格
17) Modern Pathology 15:183-188 Neurofibromin and NF1 Gene Analysis in Composite Pheochromocytoma and Tumors associated with von Recklinghausens Disease	2002	USA and Canadian Academy of Pathology	木村伯子 木村 格
18) Cephalgia 22:416-423 Efficacy and safety of eletriptan 20mg, 40mg and 80mg in Japanese migraineurs. (as a member of Eletriptan Steering Committee in Japan)	2002		木村 格
19) J Histochem & Cytochem 49 : 341-345 Synaptotagmin I expression in mast cells of normal human tissues, systemic mast cell disease, and a human mast cell leukemia cell line	2001	The histochem Society	木村伯子 木村 格
20) Endocrine Journal 48: 95-102 Immunohistochemical localization of somatostatin receptor type 2A in rat and human tissues.	2001	International endocrine society	木村伯子 木村 格
21) J Neurological Science 185:39-42 Clinical and physiological significance of abnormally prolonged central motor conduction time in HAM/TSP.	2001		Shimizu H et al
22) J Clinical Neurophysiology 18:576-582 Decrement of N20 Amplitude of the median nerve somatosensory evoked potential in Creutzfeldt- Jakob disease patients	2001	American Clinical Neurophysiology Society	Shiga Y et al
23) Electromyography Clin Neurophysiol 40, Two consecutive fasciculation potentials having different motor origins are an electromyographically pathognomonic finding of ALS	2000	EMG J Society	木村 格
24) Modern Pathology 13, Immunohistochemical expression of chromogranins A and B, prohormone convertase 2 and 3, and amidating enzyme in carcinoid tumors and	2000	International Patology Society	木村伯子 木村 格



pancreatic endocrine tumors.

(分担研究者 田代邦雄)

- 25) J Neuriscience Res 57: 280-289 1999 田代邦雄  
Neurotoxity of methyl-glyoxal and  
3-deoxyglucosone on cultured cortical neurons:  
synergisum between glycation and oxidative  
stress, possibly involved in neuron  
degenerative diseases.
- 26) Acta Neuropathology 99:63-66 1999 田代邦雄  
detection of an Amadori product, 1-hexitol-lysine,  
in the anterior horn of the amyotrophic lateral  
sclerosis and spinobulbar muscular atrophy spinal  
cord:evidence of early involvement of glycation  
in motorneuron diseases.
- 27) 脳と神経 51 : 41-47 1999 田代邦雄  
筋萎縮性側索硬化症における脊髄誘発電位の検討  
ー上行性脊髄伝導機能との関連ー
- 28) 神経治療学 16 : 475-478 1999 田代邦雄  
運導ニューロン疾患

(分担研究者 島 功二)

- 29) 厚生省特定疾患調査研究事業横断的基盤研究  
政策的研究部門神経難病医療情報整備研究班  
1998年度研究報告書:43-45,1999 1999 島 功二  
北海道における筋萎縮性側索硬化症の療養状況について
- 30) 誤診しやすい神経疾患 2000 島 功二  
田代邦雄, 廣瀬源二郎, 山本悌司編  
pp. 42-44 (南江堂, 東京)  
眼瞼下垂
- 31) 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業  
「特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築に関  
する研究班」1999年度研究報告書 pp.105-107 2000 田代邦雄  
北海道神経難病支援ネットワーク構築へ向けて(第一報) 島 功二
- 32) 医療55(8):399-400 2001 島 功二  
尋常性白斑を合併した重症筋無力症
- 33) 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業  
「特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築に関  
する研究班」2000年度研究報告書:p25-27 2001 田代邦雄  
北海道神経難病支援ネットワーク構築へ向けて(第二報) 島 功二
- 34) 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業  
「筋萎縮性側索硬化症の病態の診療指針作成に関  
する研究班」2000年度研究報告書 : 28-31 2001 島 功二  
ALSの緩和ケアの充実に向けて - 当院の症例の分析-
- 35) 難病と在宅ケア8(8):7-11 2002 島 功二

コミュニケーションへの関わり-病院内でPHSを用いて-

- |   |      |        |        |
|---|------|--------|--------|
| 36) Clinical Neuroscience21(4) in press<br>「ベッドサイドの神経診断(2)」嚥下障害   | 2002 |        | 島 功二   |
| (分担研究者 加藤丈夫)  |      |        |        |
| 37) 総合臨床 50 : 969-974<br>運動麻痺   | 2001 | 永井書店   | 加藤丈夫   |
| 38) 老年期痴呆研究会誌 2001 pp.78-80<br>遺伝性セロプラスミン欠損症と痴呆   | 2001 | 痴呆研究会  | 加藤丈夫   |
| 39) 看護のための最新医学講座第1巻 pp.503-506<br>ウイルソン病、肝性脳症   | 2002 | 中山書店   | 加藤丈夫   |
| 40) 看護のための最新医学講座第1巻 pp.506-509<br>急性ポルフィリン症   | 2002 | 中山書店   | 加藤丈夫   |
| 41) 神経内科 54 : 388-390<br>甲状腺機能低下症に伴う小脳失調症：通常MRI撮像法とmultishot-diffusion法による検討  | 2001 | 科学評論社  | 加藤丈夫   |
| 42) 総合臨床 49巻<br>ウイルソン病  | 2000 | 永井書店   | 加藤丈夫   |
| 43) 総合臨床、49巻<br>ハンチントン舞蹈病   | 2000 | 永井書店   | 加藤丈夫   |
| 44) 今日の治療指針<br>遅発性ウイルス脳炎  | 2001 | 医学書院   | 加藤丈夫   |
| 45) 今日の治療指針 (2001年版) p.255<br>進行性ジストロフィー  | 2001 | 医学書院   | 加藤丈夫   |
| 46) 日本内科学会誌、89巻<br>バリズム   | 2000 | 日本内科学会 | 加藤丈夫   |
| 47) Internal Medicine 40:548-549<br>hyposeruloplasmnemia in Neurological Diseases   | 2001 |        | Kato T |
| 48) Biochem Biophysical Reseach Com 282:166-172<br>Galectin-1 is a component of neurofilamentous changes in sporadic and fanilial amyotrophic lateral sclerosis                       | 2001 |        | Kato T |
| 49) Brit J Pharmacology, 131,<br>Nifedipine suppresses neointimal thickening by its inhibitory effect on vascular smooth muscle cell growth via a MEK-ERK pathway coupling with Pyk2. | 2000 |        | 加藤丈夫   |
| 50) Tohoku J exp Med, 191,<br>A novel mutation of the ceruloplasmin gene in a patient with heteroallelic ceruloplasmin gene mutation.   | 2000 |        | 加藤丈夫   |

(分担研究者 糸山泰人)

- |  |      |              |
|--|------|--------------|
| 51) Neurology 57:271-278<br>genomic organization of the dysferlin gene and<br>novel mutations in Miyoshi myopathy.   | 2001 | 糸山泰人<br>青木正志 |
| 52) Brain Res 198:176-181<br>Neuroprotective effect of riluzole in MPTP-treated<br>mice.   | 2001 | 糸山泰人         |
| 53) J Clin Neurophysiol 18:576-582<br>Decrement of N20 amplitude of the median nerve<br>somatosensory evoked potential in Creutzfeldt-<br>Jakob disease patients.  | 2001 | 糸山泰人<br>志賀裕正 |
| 54) Lancet, 356,<br>Impaired chemosensitivity and perception of<br>dyspnea in Parkinson's disease.   | 2000 | 小野寺宏<br>糸山泰人 |
| 55) Lancet, 356,<br>Parkinson's disease and impaired chemosensitivity<br>to hypoxia.   | 2000 | 小野寺宏<br>糸山泰人 |
| 56) J Neuroimmun, 114,<br>Chemokine receptor expression on T-cells in<br>blood and cerebrospinal fluid at relapse and<br>emission of multiple sclerosis: imbalance of<br>TH1/Th2-associated chemokine signaling. | 2001 | 糸山泰人         |
| 57) 難病と在宅ケア、6巻<br>パーキンソン病と呼吸異常の原因について  | 2001 | 小野寺宏<br>糸山泰人 |
| 58) 内科 87:1444-1448<br>多発性硬化症治療の最新情報   | 2001 | 糸山泰人         |
| 59) 内科学会雑誌 90:219-224<br>多発性硬化症の病因と治療  | 2001 | 糸山泰人         |
| 60) 脳と神経 53:346-355<br>筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者の日常活動における<br>機能評価尺度日本版ALS Functional Scale の検討。   | 2001 | 糸山泰人         |
| 61) 臨床医増刊号 EBMに基づく臨床データブック<br>27: 1580-1583<br>多発性硬化症  | 2001 | 小野寺宏         |
| 62) Medical Practice 18:1375<br>パーキンソン病の呼吸不全。  | 2001 | 小野寺宏         |
| 63) 神経治療 18:253-258<br>Spinocerebellar ataxia 6 症例に対する小脳磁気刺激<br>療法の効果の検討。  | 2001 | 糸山泰人         |
| 64) 脳と神経 53:25-33<br>Spinocerebellar ataxia type7.   | 2001 | 糸山泰人         |

(分担研究者 林 秀明)

65) Palliative Care in ALS ALS care in Japan	2000	Oxford Press	林 秀明
66) ALS care book ALSのコミュニケーション	2000	日本ALS協会	林 秀明
67) 臨床神経内科学、第4版 嚥下・呼吸筋麻痺、意志疎通障害の治療と対策	2000	南山堂	林 秀明
68) 臨床神経内科学、第4版 神経難病の病名告知、医療体制の整備	2000	南山堂	林 秀明
69) 理学療法ジャーナル、34巻 ALSの呼吸筋麻痺と呼吸器装着：最近の考え方-今までのALS観から新しいALS観への進展	2000	医学書院	林 秀明
70) 神経疾患エキスパート看護師マニュアル 筋萎縮性側索硬化症。	2002	ヴァンメジカル	加藤修一 林 秀明

(分担研究者 吉野 英)

71) 難病と在宅ケア 痴呆を伴う筋萎縮性側索硬化症	2000		吉野 英
72) 医薬品研究、31巻 医薬品承認審査と医療	2000	日本公定書協会	吉野 英
73) Clinical neuroscience 19, 副作用情報、神経疾患の薬物治療：現状と将来	2001	中外医学社	吉野 英
74) J Neuroimmunology 105, IgG antiganglioside antibodies in Guillain-Barre syndrome with bulbar palsy.	2000	Elsevier Pub Comp	吉野 英
75) Neurology 55, Creutzfeldt-Jacob disease associated with cadaveric dura mater grafts in Japan.	2000	ANN Enterprises	吉野 英

(分担研究者 今井尚志)

76) 総合リハビリテーション 29:993-996 障害受容：筋萎縮性側索硬化症をモデルとして	2001		今井尚志
77) 緩和医療学 4:84-85 神経難病と診断告知：筋萎縮性側索硬化症をモデルとして	2002		今井尚志
78) The Intn Sym on ALS/MND Complications and prognosis of long term mechanically ventilated patients with amyotrophic lateral sclerosis.	2001		今井尚志

(分担研究者 中野今治)

79) Gene Ther 9:381-389	2002		中野今治
-------------------------	------	--	------

Delayed delivery of AAV-GDNF prevents nigral neurodegeneration and promotes functional recovery in a rat model of Parkinson's disease.

- |   |      |      |
|---|------|------|
| 80) Neuroscience Res 45:33-40<br>Intramuscular injection of AAV-GDNF results in sustained expression of transgenic GDNF, and its delivery to spinal motoneurons by retrograde transport.                              | 2002 | 中野今治 |
| 81) Hum Gene Ther 13:345-354<br>Behavioral recovery in a primated model of Parkinson's disease by triple transduction of striatal cells with adeno-associated viral vectors expressing dopamine-synthesizing enzymes. | 2002 | 中野今治 |
| 82) Cortex 38:69-76<br>Environmental sound recognition after unilateral subcortical lesions.  | 2002 | 中野今治 |
| 83) J Neuroscience 22:6920-6928<br>Neuroprotective effects of glial cell line-derived neurotrophic factor mediated by an adeno-associated virus vector in a transgenic animal model of amyotrophic lateral sclerosis. | 2002 | 中野今治 |
| 84) METHODES 28:237-247<br>Adeno-associated virus vectors for gene transfer to the brain.   | 2002 | 中野今治 |
| 85) J Neurol Sci 198:97-100<br>Lewy body-free nigral degeneration-a case report.  | 2002 | 中野今治 |
| 86) Neuroradiology 44:489-493<br>Concentric structure of thalamic lesions in acute necrotizing encephalopathy.  | 2002 | 中野今治 |
| 87) Neurology 59:590-595<br>Early-onset ataxia with ocular motor apraxia and hypoalbuminemia.   | 2002 | 中野今治 |
| 88) Acta Neuropathol 104:249-259<br>Constant involvement of the Bertz cells and pyramidal tract in amyotrophic lateral sclerosis with dementia: a clinicopathological study of eight autopsy cases.                   | 2002 | 中野今治 |
| 89) Acta Neurol Scand 106:387-391<br>A Japanese SPG4 family with a novel missense mutation of the SPG4 gene: intrafamilial variability in age at onset and clinical severity.   | 2002 | 中野今治 |
| 90) Mapping of the Progress of Alzheimer's and Parkinson's disease(ed. by Mizuno et al)<br>pp. 459-462<br>Gene Therapy for Parkinson's Disease.   | 2002 | 中野今治 |
| 91) 脳と神経 54 : 359-368<br>亜急性の小脳脳幹萎縮を呈し、高度の小脳白質病変を   | 2002 | 中野今治 |

認めた血清抗SS-A/SS-B抗体陽性症例。

- |   |      |      |
|---|------|------|
| 92) 臨床眼科 56 : 1361-1364<br>抗GQ1b 抗体陽性の小脳失調を伴わない感染後急性<br>外眼筋麻痺の2症例。  | 2002 | 中野今治 |
| 93) 日本内科学会雑誌 91 : 2466-2468<br>脳MRIにてテント上の巨大白質病変を認めた<br>Behcet病の1例。   | 2002 | 中野今治 |
| 94) 今日の診断指針第5版 p.669<br>神経Behcet病。  | 2002 | 中野今治 |
| 95) 脳21 vol.5 pp.25-30<br>錐体交叉の異常-病理。   | 2002 | 中野今治 |
| 96) BRAIN MEDICAL Vol. 14 :235-237<br>What can we see in a single picture?<br><SLE脊髄>   | 2002 | 中野今治 |
| 97) 最新医学 57 : 1634-1639<br>筋萎縮性側索硬化症の遺伝子治療<br>-モデル動物での治療実験-   | 2002 | 中野今治 |
| 98) 最新医学 57 : 2481-2486<br>脳・神経疾患-神経変性疾患における神経細胞は<br>アポトーシスか?-  | 2002 | 中野今治 |
| (分担研究者 黒岩義之)  |      |      |
| 99) 総合臨床 48 : 2748-2752<br>パーキンソン病医療のアルゴリズム   | 1999 | 黒岩義之 |
| 100) 老化と疾患 12 : 456-459<br>高齢者の各種疾患による嚥下障害とその対策:<br>多系統萎縮症 (MSA)  | 1999 | 黒岩義之 |
| 101) Kinesis 5:15-18<br>パーキンソン病の知能障害と生理機能   | 2000 | 黒岩義之 |
| 102) Current Insight in neurological Sciences 9:8-9<br>多発性硬化症の病型の特徴とその変遷  | 2000 | 黒岩義之 |
| 103) 毎日ライフ 32 : 64-71<br>狂牛病 Q and A  | 2001 | 黒岩義之 |
| 104) 臨床と薬物治療 20 : 705<br>パーキンソニスムにどう対応するか   | 2001 | 黒岩義之 |
| 105) Neuroscience Letter 282:133-136<br>The correlation between P300 alterations and<br>regional blood flow in nondemented parkinsons<br>disease.   | 2000 | 黒岩義之 |
| 106) J Neurology 247:356-363<br>Visual Event-related Potentials in Progressive<br>Supranuclear palsy, Corticobasal Degeneration,<br>Striatonigral degeneration and Parkinsons<br>Disease. | 2000 | 黒岩義之 |

107) Documenta Ophthalmologica 102:83-93 D0 P1 and N1 evoked by the ERP task reflect primary visual processing in Parkinsons disease?	2001		黒岩義之
(分担研究者 塩澤全司)			
108) J Neurol Neurosurg Psychiatry 58:56-64 Amyotrophic cervical myelopathy in adolescence.	1995		Shiozawa Z
109) ALS and Other Motor neuron Disorders S3-5 A concise overview of recent breakthroughs in imaging ALS	2000		Shiozawa Z
110) J Neurology 245:77-80 Sleep apnoea in well-controlled myasthenia gravis and the effect of thymectomy.	1998		Shiozawa Z
(分担研究者 長谷川一子)			
111) 臨床と薬物療法 20 反復する悪性症候群の1例、パーキンソニスムにどう 対応するか	2001		長谷川一子
112) 日本パラプレジア医学界雑誌、13巻 Argatroban 投与により麻痺の改善を認めた脊髄梗塞例	2000		長谷川一子
113) 経治療学、17巻 Taltirelin hydrate(TA-910) の脊髄小脳変性症に対する 臨床試験：異常眼球運動および副腎皮質に及ぼす影響	2000		長谷川一子
114) パーキンソン病-診断と治療(柳澤信夫編集) L-Dopa 長期使用の問題点と対策	2000	金原出版	長谷川一子
115) 薬の知識、5 1巻、 パーキンソン病の診断と鑑別	2000		長谷川一子
116) Clinical Neuroscience, 18, 視床手	2000		長谷川一子
117) Medical Tribune, 33, パーキンソン病治療における総合的アプローチ	2000		長谷川一子
118) 老年医学、1 3巻、 パーキンソン病長期治療の問題点と対策-ドパミン アゴニストの役割・症例報告・難治性パーキンソン病 患者の治療・夜間の諸問題への対応	2000		長谷川一子
119) 日経メディカル、3月号 L-ドーパ長期投与における問題点をどう克服するか	2000		長谷川一子
120) マックス、1 5巻、 家族がパーキンソン病と診断されたら	2000		長谷川一子
121) Brain Neursing, 17, 脳の伝達物質とその働き、病態生理	2000		長谷川一子

122) 神経治療、17巻、 Parkinson 病の重症度を図る日本語版 unified Parkinson's disease rating scale(UPDRS) の信頼性評価	2000		長谷川一子
123) European J Neurology 8(suppl):4-7 The phenomenon of nocturnal dystonia in Parkinsons disease	2001		長谷川一子
124) European Neurology 46:20-24 Analysis of $\alpha$ -synuclein, parkin, tau, and UCH-L1 in a japanese Family with Autosomal dominant parkinsonism	2001		長谷川一子
125) Neurology 56:1753-1756 Cytoplasmic and nuclear polyglutamine aggregates in SCA6 Purkinje cells.	2001		長谷川一子
126) Acta neuropathol 102:553-571 DIistribution of cerebral cortical lesions in Picks disease with Pick bodies: a clinicopathological study of six autopsy cases showing unusual clinical presentations.	2001		長谷川一子
127) J Neurological sciences 183:95-98 Diagnostic significance of tau protein in cerebrospinal fluid from patients with corticobasal degeneration or progressive supranuclear palsy.	2001		長谷川一子
128) neuropathology 21:145-154 Distribution and dynamic process of neuronal cytoplasmic inclusion(NCI) in MSA:Correlation of the density of NCI and the degree of involvement of the pontine nuclei.	2001		長谷川一子
(分担研究者 中島 孝)			
129) 医学検査 50 : 669-672 制限酵素活性に及ぼすフェノールの影響	2001		中島 孝
130) 医療 55 : 516-519 神経・筋ネットワークにおけるCreutzfeld-Jakob 病 入院診療の現状と問題点	2001		中島 孝
131) 難病と在宅ケア 7 : 15-19 実用モデル「愛言葉」の誕生－視線入力意思伝達 装置の科学と哲学	2001		中島 孝
132) 臨床神経学 41 : 574-581 マチャド・ジョゼフ病における臨床症状と123I-IMP SPECT 所見の評価について	2001		中島 孝
133) 難病患者等ホームヘルパー養成研修テキスト 難病の基礎知識	2000	社会保険出版	中島 孝
(分担研究者 溝口功一)			
134) 厚生労働省特定疾患調査研究ALS患者等の療養環境	1998		溝口功一



整備に関する研究班平成9年度報告書 pp.98-97  
静岡県のALS患者のネットワークづくりの現状

135) 厚生労働省特定疾患対策研究事業研究報告書 2000 溝口功一  
平成11年度研究報告書 pp.68-70  
静岡県スモン患者の現状調査

136) Neurological Research 20:617-624 1998 溝口功一  
Anti-GQ1b IgG antibody activities related to the  
severity of Miller Fisher syndrome.

(分担研究者 近藤智善)

137) 臨床医薬 17:149-189 2001 近藤智善  
パーキンソン病患者に対する塩酸セレギリン  
(1-Deprenyl) の5年間長期投与試験における  
臨床効果

138) 老年精神医学 12:373-380 2001 近藤智善  
パーキンソン病の薬物療法の実際

139) Parkinsonism and Related Disorders 7:149-189 2001 Kondo T  
Treatment of parkinsons disease in Japan.

(分担研究者 神野 進)

140) がん終末期ならびに難治性神経筋疾患進行期の症状 2000 南山堂 神野 進  
コントロール (後藤郁男他編集)  
第7章 難治性神経筋疾患の進行期・終末期に現れる  
症状とその対策

141) 脳と発達 32巻、 2000 神野 進  
99mTc-ECD 脳SPECTで多彩な集積分布を呈した  
亜急性硬化性全脳炎の1例

142) 難病と在宅ケア、5 2000 神野 進  
在宅でも安心できる人工呼吸療法

143) 呼吸と循環、48巻 2000 神野 進  
非侵襲的陽圧換気 (NIPPV) の汎用性をめぐって

144) 臨床神経学 40巻 2000 神野 進  
パソコン通信によるSpO2モニタリングとTV会議  
システムを利用した在宅人工呼吸療法支援システムの  
試み

145) J Neurol Neurosurg Psychiatry 69, 2000 神野 進  
A case of Bickerstaff-brainstem encephalitis  
mimicking tetanus

(分担研究者 祖父江元)

146) 日本老年医学会雑誌 38:suppl 120 2001 祖父江元  
脊髄小脳変性症患者のQOLの特徴に関する検討

(分担研究者 成田有吾)

- |  |      |         |      |
|--|------|---------|------|
| 147) Neuroscientific basis of dementia pp.85-93<br>Proceedings of th international Symposium on<br>dementia. from Molecular Biology to therapeutics,<br>held in Kobe in 1999, ed by Tanaka C et al, Basel,<br>Amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-<br>dementia complex of the Kii peninsula of Japan<br>(Kii ALS/PDC) may be a familial taupathy.<br>Epidemiological trends, clinical features,<br>neuropathology and molecular genetics. | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 148) Ann Neurology 50:150-156<br>large-scale, multicenter study of cerebro-<br>spinal fluid tau protein phosphrylated at<br>serine 199 for the antermortem diagnosis of<br>Arzheimers disease.   | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 149) J neurology 248(suppl 3): /28-31<br>Drug-induced psychotic symptoms in parkinsons<br>disease. Problems, management and dilem ma.  | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 150) 内科 87:628-638<br>遺伝性神経疾患にはどのようなものがあるか<br>(特集・遺伝性神経筋疾患の最新情報)   | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 151) 内科 87:1469-1473<br>プリオン病研究の進歩(特集・最近注目されてきた<br>疾患・病態・治療-内科のトピックスを知る)   | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 152) 神経内科 54:13-19<br>紀伊半島のALSの疫学(特集・ALS-新しい展開)  | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 153) Clin Neurosci 19:148-150<br>神経疾患治療薬によるiatrogenic disease  | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 154) Clin Neurosci 19:637-640<br>Parkinson病の診断基準   | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 155) Clin Neurosci 19:1271-1273<br>運動失調と共存する症状から診断を考える-痴呆  | 2001 |         | 葛原茂樹 |
| 156) 今日の治療指針2000(日野原重明、阿部正和編集)<br>痙性対麻痺(家族性痙性対麻痺を含む)   | 2000 | 医学書院    | 葛原茂樹 |
| 157) 治療薬マニュアル2000(高久史麿、鴨下重彦編集)<br>神経科用薬  | 2000 | 医学書院    | 葛原茂樹 |
| 158) パーキンソン病Q & A(平井俊策編集)<br>薬物性パーキンソン症候群を起こす薬物は?  | 2000 | 医薬ジャーナル | 葛原茂樹 |
| 159) 誤診しやすい神経疾患(田代邦雄他編集)<br>足のもつれ、ふるえ  | 2000 | 南江堂     | 葛原茂樹 |
| 160) 難病の最新情報(大野良之編集)<br>進行性核上性麻痺progressive supranuclear<br>palsy(PSP)   | 2000 | 南山堂     | 葛原茂樹 |
| 161) パーキンソン病-診断と治療(柳澤信夫編集)   |      |         |      |

薬剤性パーキンソニスム	2000	金原出版	葛原茂樹
162) 精神医学レビュー, 36巻、痴呆 (小阪憲司編集) 紀伊半島のparkinsonism-dementia complex	2000	ライフサイエンス	葛原茂樹
163) 脳の科学 22 (増刊号) 紀伊半島における本態性パーキンソニスム、痴呆、 筋萎縮性側索硬化症	2000		葛原茂樹
164) J Neurol Science 177 Widespread expression of $\alpha$ -synuclein and $\tau$ immunoreactivity in hallervorden-Spatz syndrome with protoracted clinical course	2000		葛原茂樹
165) Neuroscientific basis of dementia(Proceedings of the international symposium on dementia, 1999) Amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism complex of the Kii peninsula of Japan may be a familial taunopathy.Epidemiological trends, clinical features, neuropathology and molecular genetics	2001	Birkhaeuser	葛原茂樹
166) Brain development 22 Autosomal recessive early-onset parkinsonism iurnal fluctuation: clinicopathologic characteristics and molecular genetic identification	2000		葛原茂樹
167) J Neurol, 415 Geographical distribution of amyotrophic lateral sclerosis with neurofibrillary tangles in the Kii peninsula of Japan	2000		葛原茂樹
168) Ann Neurology 49 Familial amyotrophic lateral sclerosis and parkinsonism-dementia complex of the Kii peninsula of Jaapan: clinical and neuropathological study and tau analysis	2001		葛原茂樹
169) 運動障害 12 : 87-91 Hypocalcemic myopathy を呈した特発性副甲状腺 機能低下症の1例	2002		成田有吾
(分担研究者 阿部康二)			
170) J neurosci Res 65:371-377 Expressins of nitrotyrosine and TUNEL immunoreactivities in cultured rat spinal cord neurons after exposure to glutamate, nitric oxide, or peroxinitrite.	2001		阿部康二
171) Brain Res 915:104-107 Early decrease of redox factor-1 in spinal motor neurons of presymptomatic transgenic mice with a mutant SOD1 gene.	2001		阿部康二
172) Neurotoxi Res 3:281-289 Expressions of caspase-3, TUNEL, and HSP72 immunoreactivities in cultured spinal cord neurons of rat after exposure to glutamate, nitric oxide,	2001		阿部康二

or peroxyinitrite.

- |  |      |      |
|--|------|------|
| 173) <i>Neurol Res</i> 23:397-404<br>Fractal demention analysis of static stabilometry<br>in parkinsons disease and spinocerebellar ataxia.  | 2001 | 阿部康二 |
| 174) <i>Neurol Res</i> 23:79-82<br>Glutamate enhances DNA fragmentation in cultured<br>spinal motor neurons of rat.  | 2001 | 阿部康二 |
| 175) <i>Apoptosis</i> 6:345-352<br>Early decrease of survival signal-related proteins<br>in spinal motor neurons of presymptomatic<br>transgenic mice with a mutant SOD1 gene.   | 2001 | 阿部康二 |
| 176) <i>Nol Brain res</i> 89:147-152<br>Oxidative damage to mitochondrial DNA in spinal<br>motoneurons of transgenic ALS mice.   | 2001 | 阿部康二 |
| 177) <i>Neurosci Lett</i> 300:75-78<br>Induction of polysialic acid-neural cell adhesion<br>molecule in surviving motoneurons of transgenic<br>amyotrophic lateral sclerosis mice.   | 2001 | 阿部康二 |
| 178) <i>J Neurol Sci</i> 189:45-47<br>A novel SOD1 gene mutation in familial ALS with<br>low penetrance in females.  | 2001 | 阿部康二 |
| 179) <i>Neurosci Lett</i> 308:149-152<br>Impaired retrograde axonal transport of<br>adenovirus-mediated E. coli LacZ gene in the mice<br>carrying mutant SOD1 gene.  | 2001 | 阿部康二 |
| 180) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i><br>(Abe K ed, <i>Excepta medica Int Congress Series</i><br>pp.67-70) Motor neuron apoptosis by glutamate.  | 2001 | 阿部康二 |
| 181) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i><br>(Abe K ed, <i>Excepta medica Int Congress Series</i><br>pp.223-226) Glutamate enhances caspase-3 and<br>TUNEL immunoactiivites in cultured rat spinal<br>motor neurons. | 2001 | 阿部康二 |
| 182) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i><br>(Abe K ed, <i>Excepta medica Int Congress Series</i><br>pp.59-66) Apoptosis of spinal motor neuron after<br>ischemia.   | 2001 | 阿部康二 |
| 183) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i><br>(Abe K ed, <i>Excepta medica Int Congress Series</i><br>pp.117-122) SOD1 mutation and clinical features<br>of familial amyotrophic lateral sclerosis.                   | 2001 | 阿部康二 |
| 184) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i><br>(Abe K ed, <i>Excepta medica Int Congress Series</i><br>pp.129-137) A family with a novel SOD1 gene mutation.   | 2001 | 阿部康二 |
| 185) <i>Molecular mechanism and Therapeutics of ALS</i>  | 2001 | 阿部康二 |